

The 29th Japan Junior Curling Championships

JOC ジュニアオリンピックカップ

第29回日本ジュニアカーリング選手権大会

令和2年 11月17日(火) ▶ 11月22日(日)

みちぎんドリームスタジアム 青森市合浦1-13-1
TEL.017-765-6200 FAX.017-765-6202



- 主催 / 公益社団法人日本カーリング協会
- 主管 / 公益社団法人日本カーリング協会競技委員会、第29回日本ジュニアカーリング選手権大会実行委員会
- 後援 / (公財)日本オリンピック委員会 (公財)青森県スポーツ協会 青森市 青森市教育委員会 (一財)青森市スポーツ協会 東奥日報社 デーリー東北新聞社 陸奥新報社
NHK青森放送局 青森放送 青森テレビ 青森朝日放送 エフエム青森 青森ケーブルテレビ
- 特別協賛 / 全国農業協同組合連合会
- 協賛 / ミズノ株式会社 トップスタージャパン株式会社 ■協力 / スポーツネット青森 東北ブロックカーリング協議会 青森県カーリング協会



Nordic Combined

SAJ令和3承認第00003号

Photo:Getty Images



Ski Jumping
葛西紀明(土屋ホーム)

SAJ令和3承認第00002号



Photo by Goran Razić



Speed Skating
高木美帆(日本体育大学)



Figure Skating
宇野昌磨(トヨタ自動車)

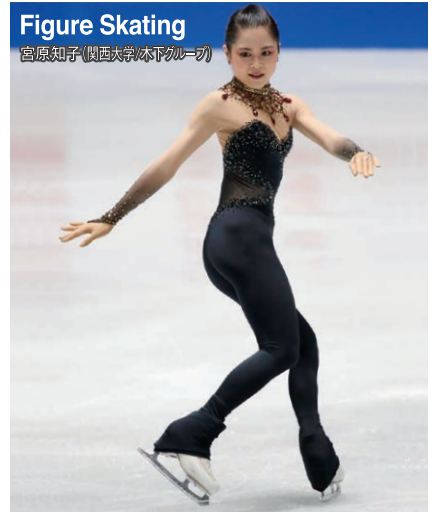


Figure Skating
宮原知子(関西大学/本下グループ)



SAJ令和3承認第00004号



Curling 男子(北海道コンサドーレ札幌)



Curling 女子(ロコソラーレ)

©Loco Solare

REACH BEYOND

ミズノは(公財)全日本スキー連盟、(公財)日本スケート連盟ならびに(公社)日本カーリング協会のオフィシャルサプライヤーです。

mizuno.jp 0120-320-799



ごあいさつ



公益社団法人日本カーリング協会
会長

貝 森 輝 幸

全国の子選を勝ち抜き「JOCジュニアオリンピックカップ 第29回日本ジュニアカーリング選手権大会」に出場される選手の皆様、誠におめでとうございます。心より賛辞をお送りするとともに、日頃の練習の成果を存分に発揮され、悔いなき大会となりますことを念じております。

皆様もご存知の通り、今年に入り国内外で新型コロナウイルスの感染拡大が続き、社会経済に大きな影響を及ぼしています。学校を始めとする教育機関においても、休校や諸行事の中止が相次ぎ、思ったような学校生活を送ることができていない選手も多いかと思えます。そのような中、本大会は開催地・青森県の関係者のご尽力の下、当会の定める感染拡大防止ガイドラインに沿った競技運営対策とそれに対する選手とスタッフの協力により、予定通りの開催に至ることができました。国内外に困難な状況が続く中、競技大会を開催する機会を頂けたことに感謝し、選手の皆様が澁淵とプレーする様子が多くの人々に励ましと勇気を与えることを期待しております。

今大会の女子優勝チームは、中国の北京で開催される「世界ジュニアカーリング選手権大会」(2021年2月18日～28日)の出場権が与えられます。北京冬季オリンピックのテストイベントでもあるこの大会で、日本ジュニア代表選手が活躍されること期待しております。

現在、日本代表および国内トップレベルのチームで活躍する選手の多くはかつてこの日本ジュニアカーリング選手権大会に出場し、お互いに切磋琢磨しながらトップアスリートとして必要となる経験を積み上げてきました。本大会に出場される選手の皆様も大会を通じて心身ともに成長され、将来の日本代表選手、そしてオリンピック選手へと羽ばたいていかれることを願って止みません。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご協力を頂きます青森市、みちぎんドリームスタジアム、大会運営にご尽力頂きます青森県カーリング協会、ならびに関係者各位に深く感謝申し上げます、ご挨拶の言葉とさせていただきます。



日本ジュニアカーリング選手権大会
実行委員会 実行委員長

佐 藤 健 一

日本ジュニアカーリング選手権2020 青森大会へ参加の皆様、地元のカリヤーを代表して、そして大会実行委員会を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会開催にあたって全面的にご支援賜りました青森市御当局並びに関係の皆様にも深く感謝申し上げます。

さて、2020年冒頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大がいまだに終息を見ず、世界中に大きな困難を引き起こしています。我が国においても、生活面も経済面も大打撃を受け、競技スポーツの世界でも練習も大会も大きな制約を受けているのが現状です。

そのような中で、特にジュニアカーリングの大会は、その年齢制限ゆえに来年のチャンスには賭けられない選手もおられますから、是非とも大会を開きたいとの強い思いから、JCAと協議を重ね、地元としても周到に準備を進めて参りました。

各地区における代表選考の過程においても大変な苦労があったと思えますし、選手の皆さんも必ずしも納得できる練習量をできなかった方もおられると思いますが、無観客や様々の制約下とはいえ、曲がりなりにも本大会が開催できるに至ったことは喜ばしい限りであります。

選手及びチーム関係者の皆さんは、「感染をさせない、感染しない」という観点からの特別な配慮を忘れずに、かつ、競技に集中していただきたいと思えます。

大会の準備は整いました。皆さんの健闘を祈ります。

この大会が、皆様の学ぶ場ともなることを期待して、歓迎の挨拶といたします。

JOCジュニアオリンピックカップ 第29回 日本ジュニアカーリング選手権大会 大会要項

- 主催** 公益社団法人日本カーリング協会
- 主管** 公益社団法人日本カーリング協会競技委員会、第29回日本ジュニアカーリング選手権大会実行委員会
- 後援** (公財)日本オリンピック委員会、(公財)青森県スポーツ協会、青森市、青森市教育委員会、
(一財)青森市スポーツ協会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、NHK青森放送局、
青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、青森ケーブルテレビ
- 特別協賛** 全国農業協同組合連合会
- 協賛** ミズノ株式会社、トップスタージャパン株式会社
- 協力** スポーツネット青森、東北ブロックカーリング協議会、青森県カーリング協会
- 日程** 令和2年11月17日(火)～11月22日(日)
17日(火):公式練習・チームミーティング・開会式・オリンピック講演
18日(水):競技(予選リーグ)
19日(木):競技(予選リーグ)
20日(金):競技(予選リーグ)
21日(土):競技(予選リーグ・決勝トーナメント)
22日(日):競技(決勝トーナメント・閉会式・表彰式)
- 会場** みちぎんどリームスタジアム(青森市スポーツ会館)
カーリングホール 青森市合浦1-13-1
TEL 017-765-6200 FAX 017-765-6202
- 参加チーム** 男女各8チーム
北海道ブロック:3 東北ブロック:2 関東中部ブロック:2 開催地枠:1
- 参加資格** 本年度の(公社)日本カーリング協会登録競技者によって編成され、本協会加盟の都道府県
ブロックにて選抜若しくは推薦されたチームであること。
また、年齢が令和2年6月30日現在で21歳未満の者。
- 参加料** 1チーム 20,000円
令和2年10月29日(木)までに参加料を下記口座に振り込むこと。
参加料振込先 銀行名:みずほ銀行 渋谷支店
口座番号:普通口座 No2866556
口座名:(公社)日本カーリング協会 会長 貝森 輝幸
- 参加申込** 令和2年10月29日(木)までに別紙出場申込書及び関係書類を
日本カーリング協会事務局にメールにて送信すること。entry@curling.or.jp
*要写真添付 提出書類確認表にて確認してください。
- 競技規則** (公社)日本カーリング協会競技規則(2019.11改訂版)による(詳細通知は審判長事前通知にて行う)
- 競技方法** 予選: 参加8チームによる総当り戦(リーグ戦方式)
※予選リーグは8エンド(持ち時間30分、チームタイムアウト1回)とする。
対戦組み合わせは、大会実行委員会で事前に行う。
決勝: 上位4チームによるトーナメント戦
8エンド(持ち時間30分、チームタイムアウト1回)とする。
※詳細はチームミーティングで説明

ユニフォーム

日本カーリング協会競技規則「C3.ユニフォーム・用具及びJCAドレスコード」、「JCA競技者ユニフォーム規定《2020年4月改定版～JCA競技委員会～》」に基づくユニフォームを着用すること。

表彰

男子、女子ともに第3位まで表彰し、最優秀選手(男女各1名)には、「JOCジュニアオリンピックカップ」を授与する。また、優勝チームには、本協会名誉顧問(名誉会員)のK.G.Sugahara氏より寄贈の“K.G.Sugahara”カップ(持ち回り)を授与する。

優勝チーム

女子は2021世界ジュニアカーリング選手権大会(2021年2月18日～28日 中国・北京)の出場権を獲得

事務局

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
 ジャパンスポーツオリンピックスクエア504
 (公社)日本カーリング協会 事務局長 小高 正嗣
 TEL 03-5843-0371 FAX 03-5843-0372

大会事務局

〒030-0812 青森県青森市堤町2丁目1番1号
 株式会社 協同 内
 第29回日本ジュニアカーリング選手権大会事務局
 青森県カーリング協会 事務局長 日下 稔
 TEL 017-777-4191 FAX 017-773-2085 e-mail aomori.ca@gmail.com

静止画及び動画撮影に関する同意

本大会期間中に(公社)日本カーリング協会(以下、JCAという。)が、又はJCAの依頼した者が、静止画及び動画を撮影する。撮影された画像(静止画・動画)の使用権については、JCAが行う大会等の告知に準ずる機会・広報活動に準ずる機会・映像製作&放映機会の使用に限り、JCAが有することに同意し、肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾した上で参加申し込みをすること。

なお、本大会の試合はJCA公認の「YouTube」にて、一部の試合についてインターネットライブ放送を行う予定があります。

ソーシャルメディアの利用の注意

ソーシャルメディア上の一般的な会話は許容されるが、人種、信条、障害、性的指向に関する投稿ならびにJCAや大会役員・選手・コーチに対する不適切な投稿は、何らかの罰則の対象となる場合がある。全ての選手とコーチは第三者がそれを利用するしないに関わらず投稿内容に責任を負う。不適切な投稿のコピー投稿およびリツイートも同様の処分対象となる場合があることに注意されたい。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響による事前通知

本大会は、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う各都道府県指定の各種指針に従って開催する。

大会の参加にあたっては、当該指針等を熟読の上、当該指針を遵守すると共に、特に本大会の開催の有無をはじめ次の事項について承諾の上出場する事。

また、今後、本対策に伴う資料の提出や、大会当日における対策には全面的に協力する事を前提に参加申し込みを行い、これに応じない場合又は、意図的に隠ぺいまたは虚偽の報告を行って参加した場合は、当該チームに対する出場の取消及び輩出ブロックに対する罰則を課す場合があるので、その旨留意されたい。

- ①本大会は無観客で開催を行う。保護者の試合観覧はできない。
- ②コーチに加え、チーム関係者(トレーナー・学校関係者など)として2名までの登録を認める。チーム関係者はその当該チームの対戦を2階北側観覧席エリアで選手のプレーの確認や健康状況を確認できるものとする。
- ③オリンピック講演はオンラインで開催する。受講方法については別途参加チームに通知する。
- ④選手及び関係者は、指定様式により大会初日の2週間前からの健康状態等を記録し、大会受付時に漏れなく提出する事。
- ⑤大会期間中に選手又は大会スタッフから感染者が出た場合、または日本国内及び開催地等の感染状況により、大会開催直前若しくは大会開催期間中において、本大会が中止等の措置が取られる場合がある。
- ⑥WCFの判断により「世界ジュニアカーリング選手権大会」が中止となる場合がある。また日本国外務省が開催国に対して発表する感染症危険レベルによっては同大会への女子優勝チームの派遣を中止する可能性がある。



《大会役員》

大会会長	(公社)日本カーリング協会 会長	貝 森 輝 幸	
大会副会長	(公社)日本カーリング協会 副会長	松 平 齊 之	酒 巻 智
大会委員	(公社)日本カーリング協会理事	柳 等	佐 藤 博 子
		中 村 義 人	清 水 淳 一 郎
		松 本 幸 彦	小 笠 原 步
		安 齋 秀 一	石 田 順 一
		日 下 稔	ジュンストーンリー
		大 澤 明 美	平 間 初 恵
		土 屋 長 雄	横 井 昭
		友 田 剛	

《大会実行委員会》

実行委員長	青森県カーリング協会会長	佐 藤 健 一	
副実行委員長	青森県カーリング協会副会長	對 馬 光 雄	船 木 一 人
実行委員	青森市地域スポーツ課課長 青森県カーリング協会理事	遠 嶋 祥 剛	
		石 田 順 一	長 谷 川 紘
		加 藤 信 行	小 島 樹 里
		藤 村 和 人	日 下 稔
		鈴 木 昌 憲	相 馬 聡
		三 上 健 実	小 倉 清 人
		小 野 寺 剛	中 村 幸 彦
		中 村 義 人	加 藤 守
		楠 美 ゆかり	菅 原 博 匡
		鳴 海 満	
監 事	青森県カーリング協会監事	西 野 き よ	山 内 ミ ツ
		石 田 よ 完	

《大会運営スタッフ》

競技委員長	(公社)日本カーリング協会競技委員長	清 水 淳 一 郎
副競技委員長	(公社)日本カーリング協会競技副委員長	中 田 勇 司
		北 口 信 彦
審 判 長	(公社)日本カーリング協会A級公認審判員	小 高 正 嗣
副 審 判 長	(公社)日本カーリング協会A級公認審判員	相 馬 聡
		松 之 内 達 弘
審 判 員	(公社)日本カーリング協会 公認審判員	
チーフアイスマン	みちぎんどリームスタジアム	中 島 潤
サブアイスマン	みちぎんどリームスタジアム	平 野 明
アイスマン	青森県カーリング協会会員	
総 務	青森県カーリング協会会員並びに青森市地域スポーツ課職員	
事 務 局 長	(公社)日本カーリング協会事務局長	小 高 正 嗣
大 会 事 務 局	青森県カーリング協会事務局長	日 下 稔

JOCジュニアオリンピックカップ第29回日本ジュニアカーリング選手権大会 タイムテーブル

月 日	TIME	SHEET	A	B	C	D
11/17 (火)	受付	13:00 ~	公式練習 (各シート10分:16チーム4セット)			
	公式練習1	13:30 ~ 14:15	女子 (関東中部2・東北2)			
	公式練習2	14:25 ~ 15:10	男子 (関東中部2・東北2)			
	公式練習3	15:20 ~ 16:05	女子 (北海道3・開催地1)			
	公式練習4	16:15 ~ 17:00	男子 (北海道3・開催地1)			
		17:10 ~ 17:30	チームミーティング			
		17:30 ~ 17:45	開会式			
	18:30 ~ 19:00	オリンピック講話 (オンライン会議で開催)				
11/18 (水)	競技 1 (女)	9:00 ~ 11:00	長野県CAJr チーム札幌	ACA青森ジュニア 岩手ジュニア	SC軽井沢クラブJr. 名寄協会JC	青森CA 札幌協会
		11:00 ~ 11:55	アイスメイク			
	競技 2 (男)	12:20 ~ 14:20	ACAジュニア 青森CA	チーム石村 常呂ジュニア	札幌国際大学 SC軽井沢クラブJr.	チーム山本 チーム AOKI
		14:20 ~ 15:15	アイスメイク			
			以下、上段チーム赤ハンドル			
	競技 3 (女)	15:40 ~ 17:40	名寄協会JC 札幌協会	SC軽井沢クラブJr. 青森CA	チーム札幌 岩手ジュニア	長野県CAJr ACA青森ジュニア
		17:40 ~ 18:35	アイスメイク			
競技 4 (男)	19:00 ~ 21:00	SC軽井沢クラブJr. チーム AOKI	札幌国際大学 チーム山本	青森CA 常呂ジュニア	ACAジュニア チーム石村	
11/19 (木)	競技 5 (女)	9:00 ~ 11:00	SC軽井沢クラブJr. 岩手ジュニア	長野県CAJr 札幌協会	青森CA ACA青森ジュニア	チーム札幌 名寄協会JC
		11:00 ~ 11:55	アイスメイク			
	競技 6 (男)	12:20 ~ 14:20	札幌国際大学 常呂ジュニア	ACAジュニア チーム AOKI	チーム山本 チーム石村	青森CA SC軽井沢クラブJr.
		14:20 ~ 15:15	アイスメイク			
	競技 7 (女)	15:40 ~ 17:40	ACA青森ジュニア 名寄協会JC	青森CA チーム札幌	長野県CAJr SC軽井沢クラブJr.	札幌協会 岩手ジュニア
		17:40 ~ 18:35	アイスメイク			
	競技 8 (男)	19:00 ~ 21:00	チーム石村 SC軽井沢クラブJr.	チーム山本 青森CA	ACAジュニア 札幌国際大学	チーム AOKI 常呂ジュニア
11/20 (金)	競技 9 (女)	9:00 ~ 11:00	青森CA 長野県CAJr	岩手ジュニア 名寄協会JC	ACA青森ジュニア 札幌協会	SC軽井沢クラブJr. チーム札幌
		11:00 ~ 11:55	アイスメイク			
	競技10 (男)	12:20 ~ 14:20	チーム山本 ACAジュニア	常呂ジュニア SC軽井沢クラブJr.	チーム石村 チーム AOKI	札幌国際大学 青森CA
		14:20 ~ 15:15	アイスメイク			
	競技11 (女)	15:40 ~ 17:40	チーム札幌 ACA青森ジュニア	札幌協会 SC軽井沢クラブJr.	岩手ジュニア 長野県CAJr	名寄協会JC 青森CA
		17:40 ~ 18:35	アイスメイク			
	競技12 (男)	19:00 ~ 21:00	青森CA チーム石村	チーム AOKI 札幌国際大学	常呂ジュニア ACAジュニア	SC軽井沢クラブJr. チーム山本
11/21 (土)	競技13 (女)	9:00 ~ 11:00	岩手ジュニア 青森CA	名寄協会JC 長野県CAJr	札幌協会 チーム札幌	ACA青森ジュニア SC軽井沢クラブJr.
		11:00 ~ 11:55	アイスメイク			
	競技14 (男)	12:20 ~ 14:20	常呂ジュニア チーム山本	SC軽井沢クラブJr. ACAジュニア	チーム AOKI 青森CA	チーム石村 札幌国際大学
		14:20 ~ 15:55	アイスメイク			
	プレーオフ	16:20 ~ 18:20	男子 3 VS 4	女子 1 VS 2	男子 1 VS 2	女子 3 VS 4
11/22 (日)	準決勝	9:00 ~ 11:00	決勝戦進出チーム練習	男子準決勝	女子準決勝	決勝戦進出チーム練習
		11:00 ~ 12:35	アイスメイク			
	決勝	13:00 ~ 15:00		女子決勝	男子決勝	
		15:00 ~	閉会式・表彰式			

- ①競技3以降、上段に記載されているチームは、赤色のストーンを使用し先に練習を行いLSDを開始します。
- ②競技1, 2はコインとスにてストーンの色を決めます。赤色のストーンを選んだチームから練習を開始してください。
- ③試合前練習：試合開始25分前、予選・7分間+終了時点でLSD、決勝トーナメント9分間実施。
- ④決勝進出チームの練習シートと時間は、予選終了後に決定し発表します。

対戦組合せ表

女子の部

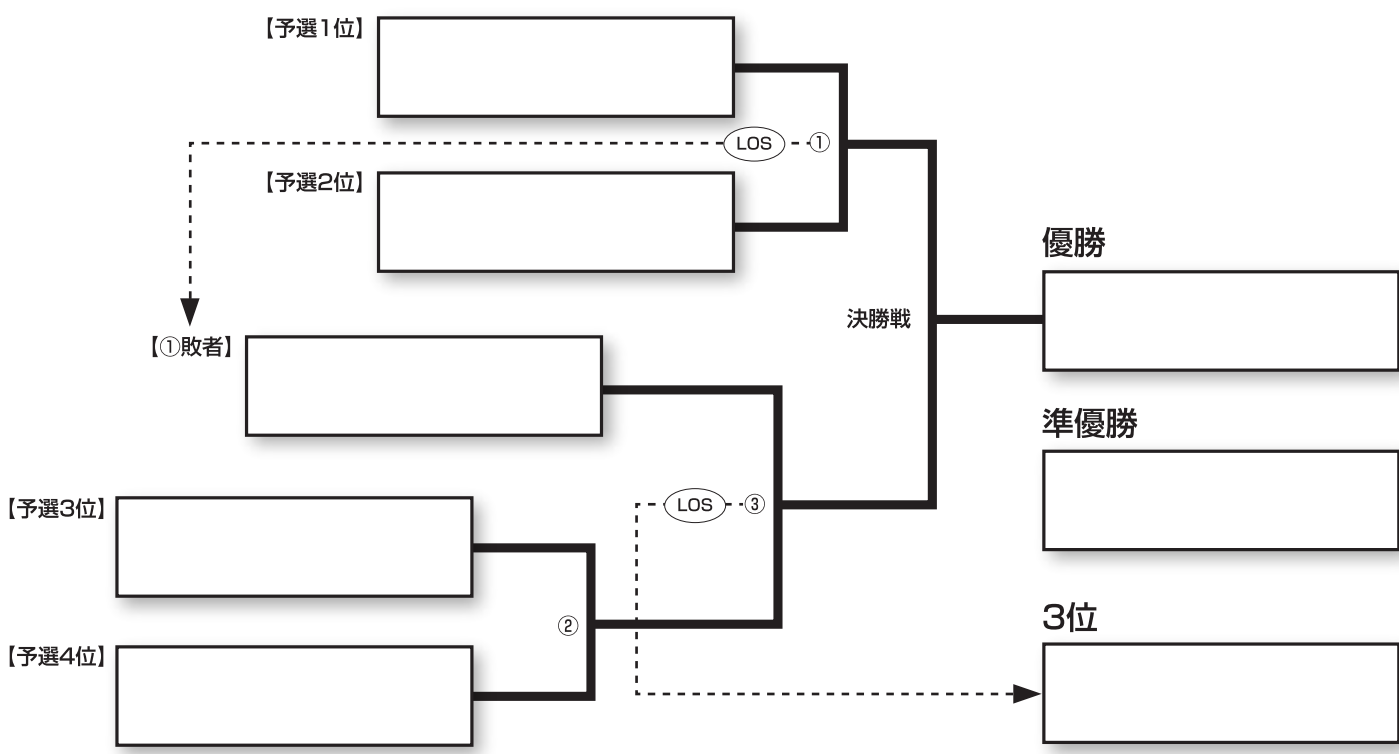
チーム	ブロック	1	2	3	4	5	6	7	8	勝	負	順位
1 長野県CAJr	長野県											
2 チーム札幌	北海道											
3 ACA青森ジュニアクラブ	青森県											
4 岩手ジュニア	岩手県											
5 SC軽井沢クラブJr.	長野県											
6 名寄協会JC	北海道											
7 青森CA	青森県											
8 札幌協会	北海道											

男子の部

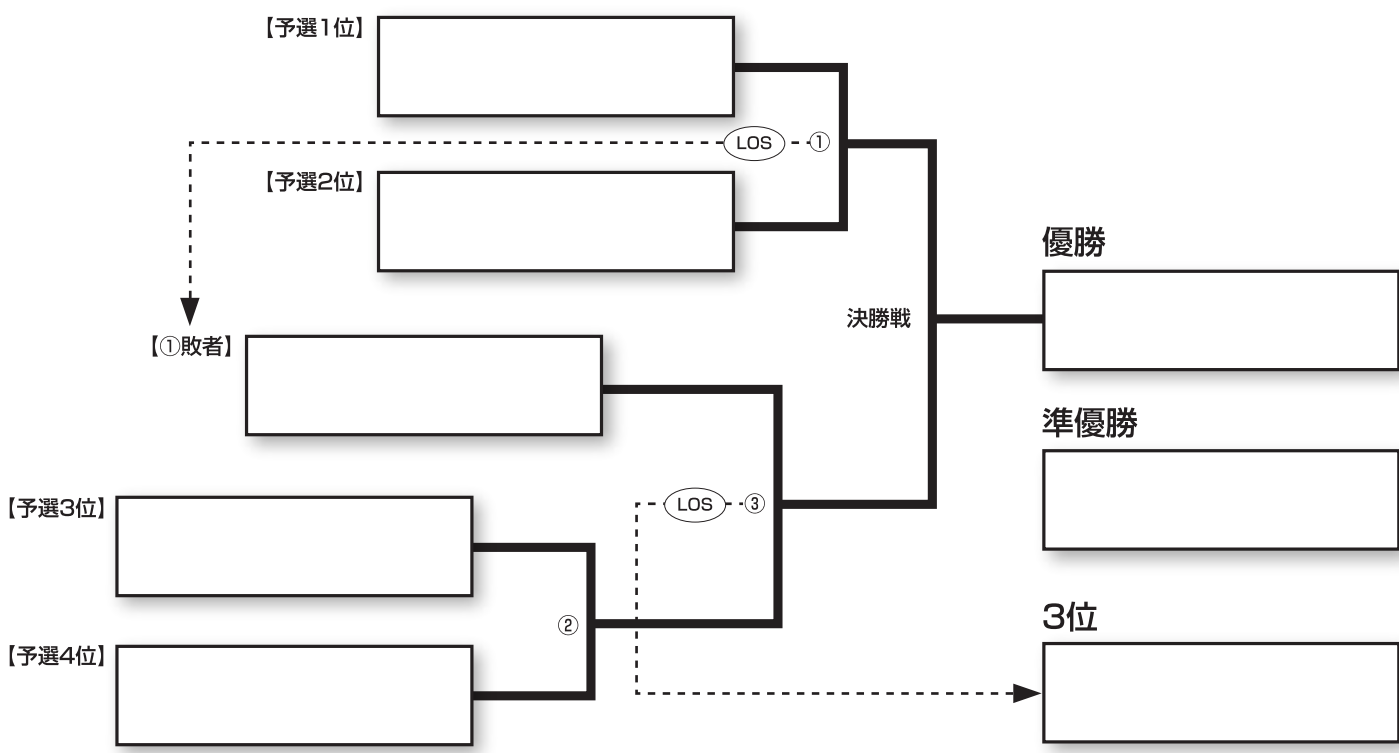
チーム	ブロック	1	2	3	4	5	6	7	8	勝	負	順位
1 ACAジュニア	青森県											
2 青森CA	青森県											
3 チーム石村	青森県											
4 常呂ジュニア	北海道											
5 札幌国際大学	北海道											
6 SC軽井沢クラブJr.	長野県											
7 チーム山本	長野県											
8 チーム AOKI	北海道											

決勝トーナメント

女子の部



男子の部



女子チームメンバー紹介

北海道ブロック

北海道カーリング協会

札幌協会



- 【フォース】 田畑 百葉
- 【サード】 小林 未奈
- 【セカンド】 中島 未琴
- 【リード】 仁平 美来
- 【コーチ】 佐藤 浩
- 【コーチ】 嶋村 久美子

北海道ブロック

北海道カーリング協会

チーム札幌



- 【フォース】 板垣 ほのか
- 【サード】 安井 涼音
- 【セカンド】 大関 結
- 【リード】 川村 莉央
- 【コーチ】 青木 美憲

東北ブロック

岩手県カーリング協会

岩手ジュニア



- 【フォース】 瀬川 琴佳
- 【サード】 松原 理桜
- 【セカンド】 佐々木 美桜
- 【リード】 川崎 芽生
- 【リザーブ】 佐藤 穂佳
- 【コーチ】 菊池 充
- 【コーチ】 田村 暁智

関東中部ブロック

長野県カーリング協会

長野県CA Jr



- 【フォース】 鈴木 結海
- 【サード】 鈴木 璃海
- 【セカンド】 田村 星名
- 【リード】 柳澤 花芽美
- 【コーチ】 内田 義一

北海道ブロック

北海道カーリング協会

名寄協会JC



- 【フォース】 三浦 由唯菜
- 【サード】 松永 愛唯
- 【セカンド】 高橋 佑奈
- 【リード】 佐久間 優名
- 【コーチ】 松澤 大介
- 【コーチ】 小川 健二

東北ブロック

青森県カーリング協会

青森CA



- 【フォース】 鈴木 凜
- 【サード】 相澤 天
- 【セカンド】 松山 心優
- 【リード】 近藤 ひかり
- 【リザーブ】 河原木 夏菜
- 【コーチ】 山口 鉄生
- 【コーチ】 鈴木 昌憲

関東中部ブロック

長野県カーリング協会

SC軽井沢クラブJr.



- 【フォース】 上野 美優
- 【サード】 荻原 詠理
- 【セカンド】 上野 結生
- 【リード】 山本 冴
- 【コーチ】 西室 雄二

開催地枠

青森県カーリング協会

ACA青森ジュニアクラブ



- 【フォース】 今井 萌々花
- 【サード】 清藤 乃莉佳
- 【セカンド】 工藤 黎音
- 【リード】 川村 実愛
- 【リザーブ】 相澤 芽衣
- 【コーチ】 藤村 和人
- 【コーチ】 藤村 正貴

男子チームメンバー紹介

北海道ブロック

北海道カーリング協会

札幌国際大学



- 【フォース】 青木 豪
- 【サード】 佐藤 剣仁
- 【セカンド】 鎌田 溪
- 【リード】 新野 和志
- 【リザーブ】 佐々木 彩斗
- 【コーチ】 土居 誉享
- 【コーチ】 荻原 功暉

北海道ブロック

北海道カーリング協会

チーム AOKI



- 【フォース】 青木 亮
- 【サード】 渡邊 陽紀
- 【セカンド】 山下 颯太
- 【リード】 京藤 凜
- 【リザーブ】 清水野 梨希
- 【コーチ】 渡邊 誉史雄
- 【コーチ】 青木 美憲

東北ブロック

青森県カーリング協会

ACAジュニア



- 【フォース】 佐藤 航英
- 【サード】 阿部 悠人
- 【セカンド】 桂木 悠綺
- 【リード】 川村 知也
- 【リザーブ】 吉本 暁篤
- 【コーチ】 藤村 和人
- 【コーチ】 西野 健勝

関東中部ブロック

長野県カーリング協会

チーム山本



- 【フォース】 山本 遵
- 【サード】 中川 裕斗
- 【セカンド】 渡辺 陽
- 【リード】 浅野 尊
- 【コーチ】 柏木 由美子

北海道ブロック

北海道カーリング協会

常呂ジュニア



- 【フォース】 前田 拓海
- 【サード】 上川 憂竜
- 【セカンド】 前田 拓紀
- 【リード】 中原 亜星
- 【リザーブ】 中原 太亜
- 【コーチ】 敦賀 信人

東北ブロック

青森県カーリング協会

青森CA



- 【フォース】 鈴木 実倫
- 【サード】 今 聡太
- 【セカンド】 今 瑞希
- 【リード】 工藤 竣葵
- 【コーチ】 加藤 信行

関東中部ブロック

長野県カーリング協会

SC軽井沢クラブJr.



- 【フォース】 林 莉生
- 【サード】 峯岸 優斗
- 【セカンド】 邊見 渉
- 【リード】 柳澤 沙苑
- 【コーチ】 荻原 諒

開催地枠

青森県カーリング協会

チーム石村



- 【フォース】 石村 潤恩
- 【サード】 川村 空也
- 【セカンド】 石村 悠温
- 【リード】 斎藤 遥大
- 【リザーブ】 鈴木 大翔
- 【コーチ】 今 千宏

歴代優勝チーム

第1回 銀河アリーナ 神奈川県 1993年 3/11-3/13	男子 優勝 池田高校(北海道) 準優勝 TOKYO JUNIOR(東京都) 3位 シューティングスター(北海道)	女子 優勝 ホワイトエンジェル(北海道) 準優勝 高専レディース(北海道) 3位 ピノキオ(長野県)
第2回 銀河アリーナ 神奈川県 1994年 3/10-3/12	男子 最優秀選手 敦賀 信人 優勝 アイスマン(北海道) 準優勝 シューティングスター(北海道) 3位 TOKYO JUNIOR(東京都)	女子 最優秀選手 加藤 章子 優勝 シムソنز(北海道) 準優勝 ホワイトエンジェル(北海道) 3位 エフォートA(長野県)
第3回 常呂カーリングホール 北海道 1995年 2/11-13	男子 最優秀選手 佐藤 浩 優勝 シューティングスター(北海道) 準優勝 アイスマン(北海道) 3位 TOKYO ROCKIN JR(東京都)	女子 最優秀選手 堀 美香 優勝 ホワイトエンジェル(北海道) 準優勝 シムソنز(北海道) 3位 東光舗道ギャルズ(北海道)
第4回 常呂カーリングホール 北海道 1996年 2/10-12	男子 最優秀選手 佐藤 浩 優勝 アイスマン(北海道) 準優勝 常呂高校(北海道) 3位 VICTORY(長野県)	女子 最優秀選手 加藤 章子 優勝 シムソنز(北海道) 準優勝 エフォートA(長野県) 3位 空知こざくら(北海道)
第5回 常呂カーリングホール 北海道 1997年 12/21-23	男子 最優秀選手 柏木 寛昭 優勝 VICTORY(長野県) 準優勝 常呂ジュニア(北海道) 3位 シューティングスター(北海道)	女子 最優秀選手 加藤 章子 優勝 シムソنز(北海道) 準優勝 空知こざくら(北海道) 3位 東光舗道(北海道)
第6回 常呂カーリングホール 北海道 1998年 12/21-23	男子 最優秀選手 敦賀 信人 優勝 アイスマン(北海道) 準優勝 VICTORY(長野県) 3位 シューティングスター(北海道)	女子 最優秀選手 加藤 章子 優勝 シムソنز(北海道) 準優勝 ピックティック(長野県) 3位 空知こざくら(北海道)
第7回 スカップ軽井沢 長野県 1999年 1/15-17	男子 最優秀選手 柏木 寛昭 優勝 VICTORY(長野県) 準優勝 アイスマン(北海道) 3位 ETOILE(北海道)	女子 最優秀選手 加藤 章子 優勝 シムソنز(北海道) 準優勝 ピックティック(長野県) 3位 SUPER BEAT(長野県)
第8回 常呂カーリングホール 北海道 2000年 1/7-1/9	男子 最優秀選手 柳沢 和人 優勝 VICTORIOUS(長野県) 準優勝 アイスマン(北海道) 3位 ガンズマン(北海道)	女子 最優秀選手 目黒 萌絵 優勝 空知こざくら(北海道) 準優勝 PICTIC(長野県) 3位 マリリンズ(北海道)
第9回 スカップ軽井沢 長野県 2001年 1/12-1/14	男子 最優秀選手 柏木 寛昭 優勝 VICTORIOUS(長野県) 準優勝 スーパーストーン(北海道) 3位 AXA(長野県)	女子 最優秀選手 目黒 萌絵 優勝 空知こざくら(北海道) 準優勝 PICTIC(長野県) 3位 スーパーラバース(北海道)
第10回 青森県営スケート場 青森県 2002年 1/11-1/13	男子 最優秀選手 村上 幸宏 優勝 Knights(北海道) 準優勝 VICTORIOUS(長野県) 3位 ホワイトタイガー(北海道)	女子 最優秀選手 本橋 麻里 優勝 マリリンズ(北海道) 準優勝 スーパーラバース(北海道) 3位 空知こざくら(北海道)
第11回 常呂カーリングホール 北海道 2003年 1/9-1/12	男子 最優秀選手 両角 友佑 優勝 AXA(長野県) 準優勝 SUPERGUNS(北海道) 3位 ホワイトタイガー(北海道)	女子 最優秀選手 小林 愛 優勝 スーパーラバース(北海道) 準優勝 マリリンズ(北海道) 3位 WISH(長野県)
第12回 スカップ軽井沢 長野県 2004年 1/14-1/18	男子 最優秀選手 村上 幸宏 優勝 Knights(北海道) 準優勝 ホワイトタイガー(北海道) 3位 AXA(長野県)	女子 最優秀選手 小林 愛 優勝 スーパーラバース(北海道) 準優勝 WISH(長野県) 3位 brave(長野県)

第13回

青森市スポーツ会館 青森県

2005年 1/17-1/20

男子 最優秀選手 両角 友佑
 優勝 チーム両角(長野県)
 準優勝 チーム荻原(長野県)
 3位 チーム小林(北海道)



女子 最優秀選手 掛川 美佐
 優勝 チーム力掛川(長野県)
 準優勝 チーム岩崎(長野県)
 3位 チーム近江谷(北海道)



第14回

妹背牛町カーリングホール 北海道

2005年 12/21-12/25

男子 最優秀選手 両角 友佑
 優勝 SC軽井沢クラブ(長野県)
 準優勝 チーム軽井沢(長野県)
 3位 チーム妹背牛(北海道)



女子 最優秀選手 小林 恵美
 優勝 常呂(北海道)
 準優勝 チーム軽井沢(長野県)
 3位 南富良野(北海道)



第15回

スカップ軽井沢 長野県

2006年 12/6-12/10

男子 最優秀選手 松村 雄太
 優勝 軽井沢Jr(長野県)
 準優勝 チーム妹背牛(北海道)
 3位 SC軽井沢Jr(長野県)



女子 最優秀選手 近江谷 杏菜
 優勝 常呂協会(北海道)
 準優勝 チーム軽井沢(長野県)
 3位 北見(北海道)



第16回

青森市スポーツ会館 青森県

2007年 12/5-12/9

男子 最優秀選手 坂本 優希
 優勝 軽井沢Jr(長野県)
 準優勝 南富良野高校(北海道)
 3位 チーム常呂(北海道)



女子 最優秀選手 藤沢 五月
 優勝 チーム北見(北海道)
 準優勝 常呂協会(北海道)
 3位 御代田ジュニア(長野県)



第17回

北海道サンピラーパーク 北海道

2008年 11/20-11/24

男子 最優秀選手 藤沢 健人
 優勝 東京農業大学(北海道)
 準優勝 常呂(北海道)
 3位 TOKORO.CC(北海道)



女子 最優秀選手 藤沢 五月
 優勝 チーム北見(北海道)
 準優勝 常呂高校(北海道)
 3位 JJ常呂(北海道)



第18回

スカップ軽井沢 長野県

2009年 12/2-12/6

男子 最優秀選手 松村 雄太
 優勝 軽井沢CC(長野県)
 準優勝 常呂高校(北海道)
 3位 御代田(長野県)



女子 最優秀選手 土屋 海
 優勝 御代田ジュニア(長野県)
 準優勝 常呂高校(北海道)
 3位 中部電力(長野県)



第19回

常呂カーリングホール 北海道

2010年 12/1-12/5

男子 最優秀選手 松村 雄太
 優勝 軽井沢CC(長野県)
 準優勝 常呂倶楽部(北海道)
 3位 常呂ジュニア(北海道)



女子 最優秀選手 吉村 沙也香
 優勝 札幌国際大学(北海道)
 準優勝 チーム常呂(北海道)
 3位 御代田ジュニア(長野県)



第20回

スカップ軽井沢 長野県

2011年 11/30-12/4

男子 最優秀選手 柴谷 優策
 優勝 常呂倶楽部(北海道)
 準優勝 軽井沢CCジュニア(長野県)
 3位 青森中央学院大学(青森県)



女子 最優秀選手 吉村 沙也香
 優勝 札幌国際大学(北海道)
 準優勝 城西大学(長野県)
 3位 名寄協会(北海道)



第21回

青森市スポーツ会館 青森県

2012年 11/28-12/2

男子 最優秀選手 速水 港
 優勝 長野CA(長野県)
 準優勝 常呂倶楽部(北海道)
 3位 北見CC(北海道)



女子 最優秀選手 吉村 沙也香
 優勝 札幌国際大学(北海道)
 準優勝 チーム妹背牛(北海道)
 3位 御代田CC(長野県)



第22回

アドヴィックス常呂
カーリングホール 北海道

2013年 11/26-12/1

男子 最優秀選手 谷田 康真
 優勝 札幌学院大学(北海道)
 準優勝 長野県CAジュニア(長野県)
 3位 常呂ジュニア(北海道)



女子 最優秀選手 南 真由
 優勝 札幌学院大学(北海道)
 準優勝 軽井沢ジュニア(長野県)
 3位 青森ジュニア(青森県)



第23回

妹背牛カーリングホール 北海道

2014年 12/2-12/7

男子 最優秀選手 柴谷 隆次
 優勝 北見工業大学(北海道)
 準優勝 長野県CAジュニア(長野県)
 3位 札幌学院大学(北海道)



女子 最優秀選手 内藤 圭美
 優勝 北海道大学(北海道)
 準優勝 札幌学院大学(北海道)
 3位 軽井沢ジュニア(長野県)



第24回

軽井沢アイスパーク 長野県

2015年 11/24-11/29

男子 最優秀選手 新野 和志
 優勝 チームにいの(北海道)
 準優勝 長野県CAジュニア(長野県)
 3位 チーム塚本(神奈川県)



女子 最優秀選手 土屋 文乃
 優勝 軽井沢ジュニア(長野県)
 準優勝 チーム軽井沢(長野県)
 3位 あおもりユース(青森県)



歴代優勝チーム

第25回 みちぎんドリームスタジアム 青森県 2016年 11/22-11/27	男子 最優秀選手 清水野 栞也 優勝 札幌学院大学(北海道) 準優勝 軽井沢ジュニア(長野県) 3位 軽井沢中学校(長野県)	女子 最優秀選手 田中 美咲 優勝 あおもりユース(青森県) 準優勝 Karuizawa Jr.(長野県) 3位 名寄協会(北海道)
第26回 どうぎんカーリングスタジアム 北海道 2017年 11/21-11/26	男子 最優秀選手 鎌田 溪 優勝 チームかまだ(北海道) 準優勝 札幌学院大学(北海道) 3位 軽井沢ジュニア(長野県)	女子 最優秀選手 松澤 弥子 優勝 名寄ジュニアクラブ(北海道) 準優勝 Karuizawa Jr(長野県) 3位 青森県協会(青森県)
第27回 軽井沢アイスパーク 長野県 2018年 11/20-11/25	男子 最優秀選手 鎌田 溪 優勝 チームかまだ(北海道) 準優勝 チームAOKI(北海道) 3位 SC軽井沢クラブJr.(長野県)	女子 最優秀選手 江並 杏実 優勝 SC軽井沢クラブJr.a(長野県) 準優勝 青森県協会(青森県) 3位 Karuizawa Jr(長野県)
第28回 妹背牛町カーリングホール 北海道 2019年 11/5-11/10	男子 最優秀選手 青木 豪 優勝 札幌国際大学(北海道) 準優勝 札幌ジュニア(北海道) 3位 常呂ジュニア(北海道)	女子 最優秀選手 山本 冴 優勝 SC軽井沢クラブJr.b(長野県) 準優勝 札幌協会(北海道) 3位 SC軽井沢クラブJr.a(長野県)

スポーツ振興基金助成事業 支援企業グループ

平成27年12月1日現在(50音順)

アクサ生命保険株式会社	住友生命保険相互会社	パナソニック株式会社
朝日生命保険相互会社	西武鉄道株式会社	富国生命保険相互会社
アサヒビール株式会社	ソニー株式会社	株式会社フジタ
株式会社安藤・間	株式会社損害保険ジャパン	株式会社フジテレビジョン
株式会社大林組	大成建設株式会社	前田建設工業株式会社
オリックス銀行株式会社	太陽生命保険株式会社	マスマチュアル生命保険株式会社
鹿島建設株式会社	第一生命保険株式会社	マニライフ生命保険株式会社
株式会社熊谷組	大同生命保険株式会社	株式会社マルニファニシング
株式会社鴻池組	株式会社竹中工務店	ミズノ株式会社
サッポロビール株式会社	中央三井信託銀行株式会社	株式会社みずほ銀行
サントリーホールディングス株式会社	T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	みずほ信託銀行株式会社
三洋電機株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	株式会社三井住友銀行
株式会社ジェイティービー	戸田建設株式会社	三井生命保険株式会社
ジブラルタ生命保険株式会社	凸版印刷株式会社	株式会社三菱東京UFJ銀行
清水建設株式会社	トヨタ自動車株式会社	株式会社村田製作所
新日鐵住金株式会社	西松建設株式会社	明治安田生命保険相互会社
住友信託銀行株式会社	日本生命保険相互会社	株式会社りそな銀行

スコアシート

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	E	スコア

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	E	スコア

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	E	スコア

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	E	スコア

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	E	スコア

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	E	スコア

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	E	スコア

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



JAL NEXT ATHLETE MILE

ネクスト
アスリート
マイル

あなたが贈ったマイルにJALが上乗せしてアスリートへ
これまで総額80,432,046マイルの寄付が、選手の強化費や
用具購入等に使われています
*上記は、2014年6月9日～2019年3月31日までの実績です。

22の競技団体と、
「参加競技団体を均等に応援」
から選べます。

- ウエイトリフティング ●カーリング ●カヌー ●空手 ●近代五種 ●車いすバスケットボール
- 車いすラグビー ●クレ射撃 ●ゴルフ ●サッカー ●柔道 ●スポーツクライミング
- セーリング ●体操 ●知的障がい者スポーツ ●トライアスロン ●フェンシング ●ボート
- ライフル射撃 ●ラグビー ●陸上競技 ●陸上競技(パラリンピック)

あなたのマイルが 世界へ羽ばたく チカラとなる。

マイルを贈る、という応援があります。

あなた
からの
マイル

+

JAL
からの
マイル

»

次世代
アスリートへの
寄付

全員にプレゼント!

個別競技を指定せず「参加競技団体を均等に応援」を選択し、
寄付いただいた方、全員にもれなくJALオリジナルグッズをプレゼントします!
※予告なしに終了する場合がございます



全農×カーリング

全農はカーリング日本代表選手を応援しています

全農は、カーリング日本代表(男子・女子・ミックスダブルス・ジュニア)のオフィシャルスポンサーです。国内の主要大会に協賛するだけでなく、日本代表選手の皆さんが出演する国際大会では、全農の海外ネットワークを活用して、選手の皆さんの大会期間中の海外での食生活を「ニッポンの食」でサポートしています。

世界女子カーリング選手権

日程: 2019年3月16日~24日
場所: テンマーク シルクボー

4位入賞

大会期間中に補食となるバックご飯やみそ汁などの「ニッポンの食」を提供したほか、現地レストランへ食材を輸出するとともに、本会の直営レストランからシェフを招へいし、試合の間や試合後に本格的な和食を提供しました。



世界男子カーリング選手権

日程: 2019年3月30日~4月7日
場所: カナダ レスブリッジ

4位入賞

精米や国産大豆スイーツ「ソイリーツ」など「ニッポンの食」を提供するとともに、大会期間中、会場近くの和食レストランで選手の皆さんに和食を提供して、選手の皆さんの食生活をサポートしました。



世界ミックスダブルスカーリング選手権

日程: 2019年4月20日~27日
場所: ノルウェー スタヴァンゲル

5位入賞

精米やみそ汁などの「ニッポンの食」を提供。1試合当たり2~3時間という長時間の戦いとなるカーリング競技において、「食」でサポートしました。



パシフィックアジアカーリング選手権大会

日程: 2019年11月2日~9日
場所: 中国 深圳

男女とも準優勝

バックご飯やみそ汁などの「ニッポンの食」を提供するとともに、大会期間中、日本から管理栄養士を派遣し、試合前後の補食として毎日「おむすび」を提供しました。



世界ジュニアカーリング選手権も今シーズンから食サポートを実施します!

Twitter



Twitter「全農広報部スポーツ応援」では随時情報を発信中

全農
ZEN-NOH